＜指導案＞

４　指導案例

　「ハツカダイコンを育ててみよう」第２次案（本時１／５）

　(1) 本時の目標

・ハツカダイコンの栽培に関心をもち，よりよい栽培方法について考えようとしている。

　【関心・意欲・態度】

・１回目の栽培の改善点を取り入れ，栽培時期を考慮しながら２回目の栽培計画を工夫することができる。

　　　　【工夫・創造】

　(2) 準備

　　　ワークシート，資料（１回目に栽培したハツカダイコンの写真）

(3) 指導過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段  階 | 学　習　活　動 | 教師の支援・留意点　☆評価規準 |
| つ  か  む | １　1回目に収穫したハツカダイコンを食べた感  想を発表する。  ・辛かった。  ・シャキシャキした食感だった。  ・葉が虫に喰われていて食べる気がしなかった。 | ・１回目に栽培したハツカダイコンの写真を掲  示する。  （栽培方法を振り  返るために写  真を掲示する） |
| 見  通  す | ２　１回目の手入れ方法を振り返り，２回目の栽培に向けて改善点を考える。  ・夏は害虫が多くなるから，害虫駆除対策をし  っかりしておいた方がいいよ。  ・水やりは毎日，数回，続けた方がいい。  ・トマトは水を与えすぎるとおいしくなくなる  と聞いたけど，ハツカダイコンも同じかな。  ・１回目に使った土の栄養分は足りているのか  な。  ・肥料の養分を調べてみよう。 | ・１回目に収穫したときの様子を振り返らせたり，ハツカダイコンの大きさや数，味などに着目させたりして，２回目以降どのように育てたいのかを４人班で話し合わせる。  ・意見が単調になったり，出にくかったりした場合は，班の話し合いを終了し，クラス全体で発表交流させる。  ・１回目にうまくハツカダイコンが育てられなかった生徒には，原因を考えさせ，うまく育てることができた友達の意見を参考にするように伝える。  ☆１回目の栽培を振り返り，２回目の栽培方法の改善点を見つけることができたか。  （話し合い・発表）【関】 |
| 確  か  め  る | ３　２回目の栽培計画を立てる。  　・話し合いを基に，自分の考えた２回目の栽培計画を立てる。  ・２回目の種まきは梅雨の時期だから，雨に流  されない場所にポットを置こう。  ・害虫除けのネットは，前回よりも早めにつけ  た方がいいかな。  ・日中の気温が３０℃を超えるので，水やりは  早朝にしよう。 | ・手入れ方法を振り返り，確認させる。  ・教科書を参照しながら土の養分にも目を向けさせる。  ・ワークシートに１回目の栽培と比べて工夫した所（改善した所）も記入させる。  ・種のまき方や深さ等，ポットや容器，土など  を使い，室内で実際に行うことで栽培計画に  役立てることができるようにする。  ☆１回目の栽培の改善点を取り入れ，栽培時期  を考慮しながら２回目の栽培計画を工夫する  ことができたか。　　　（ワークシート）【工】 |
| 生  か  す | ４　自分の栽培計画を発表する。 | ・準備も手軽に行うことができるので，家庭で  も実践できることを伝える。  ・夏以降も実践できるよう，しっかりと記録を  取ることを伝える。 |

(3) 評価

　　・１回目の栽培の改善点を自分や友達の経験から見いだし，よりよいハツカダイコンを栽培するために，栽培時期を考慮しながら２回目の栽培計画を工夫することができたか，ワークシートや授業の様子から判断する。